

指定管理者評価シート

事業名	札幌市みかほ整肢園管理業務	所管課(電話番号)	保健福祉局保健福祉部障がい福祉課(211-2938)
-----	---------------	-----------	----------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市みかほ整肢園	所在地	札幌市東区北17条東5丁目2-1
開設時期	昭和46年4月1日	延床面積	1,015.53㎡(総面積1,938.75㎡)
目的	肢体不自由のある就学していない利用児とその保護者を対象に、一人ひとりの状況にあわせた早期療育の場として心身の発達を促し、利用児及び保護者の意思と人格を尊重し、当事者の立場に立った適切な療育を確保することを目的とする。		
事業概要	医療型児童発達支援センター、保育所等訪問支援事業、日中一時支援事業、居宅訪問型児童発達支援事業の運営		
主要施設	訓練室、保育室、診察室、心理判定室、言語療法室、工作室、プール、トイレ、調理室、屋外訓練場		
2 指定管理者			
名称	社会福祉法人 麦の子会		
指定期間	2020年4月1日～2025年3月31日		
募集方法	公募		
指定単位	施設数: 1 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設維持管理業務、施設事業計画及び実施業務、施設利用承認等業務		
3 評価単位			
	施設数: 1 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和2年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1) 統括管理業務	▼ 管理運営に係る基本方針の策定 ▼ 設置目的である「肢体不自由のある就学していない利用児とその保護者を対象に、一人ひとりの状況にあわせた早期療育の場として心身の発達を促し、利用児及び保護者の意思と人格を尊重し、当事者の立場に立った適切な療育を確保することを目的」としている。 ▼ Mission「共に生きる」困り感のある人々を救い、ともに生きるために存在しているという法人のミッションのもとに障害のある人もない人も安心して暮らすことが出来る地域づくりを行うということを念頭に置いて支援を行っている。 ▼ 新型コロナウイルス感染予防対策のため法人全体で感染予防の徹底として消毒、換気、三密を避けるなどの対策をとった。	基本方針に沿った運営を心掛け、理念の実践化に努めた。また1人1人のニーズに沿った支援を提供することが出来た。	<table style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">A</td> <td style="background-color: yellow; padding: 2px;">B</td> <td style="padding: 2px;">C</td> <td style="padding: 2px;">D</td> </tr> </table>	A	B	C	D
	A		B	C	D		
・基本方針に則り、適正に管理運営がなされている。							

▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績

▼札幌市みかほ整肢園を利用や見学希望する方が公平に利用できるように見学を随時受け入れ対応した。また、関係機関の方から見学希望があった場合にも受け入れを行った。

▼病院や保健センター相談室などの問い合わせも増えてきているので随時相談や見学などの対応を行った。

▼利用者権利擁護に対して虐待防止委員会を月に1回開催し、毎月の職員会議の中で障がい者虐待防止法や支援者として注意することを読み合わせして職員の周知徹底に努めた。

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

▼電気、水道、油、ガス等の使用に当たっては、極力節約に努めた。

▼札幌市環境マネジメントシステムに基づき職員研修を実施し、ごみの分別等の張り紙を掲示した。

▼ゴミの減量のため出たごみは持ち帰り、ペットボトルや段ボールはリサイクル業者に搬出等努めた。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

▼法人の組織図、職務、管理者、指揮命令系統を明確にし、緊急時の連絡体制を確定した。また、各職種が職務記述書に基づいた業務を行い、役割分担や責任を明確にした。

▼利用者の送迎利用のニーズの増加に合わせて送迎職員を増員して配置した。リハビリ担当職員も利用者の増加に合わせて増員して配置した。

▼当初の研修計画に基づき職員研修を実施した。また、保育、リハビリ担当職員など各職種ごとの勉強会や研修会、年代別の研修も計画的に行った。法人内の職員研修だけではなく外部研修にも参加し、それぞれの専門職としての学ぶ機会を設けた。研修参加後は打ち合わせの中で職員に周知をした。

▼人材育成としてグループスーパービジョンを週1回、個別スーパービジョンを月に1回(新人職員は週1回)行った。また、毎日の振り返りの中で支援を振り返り、より良い支援を行うためにはどうしたらよいか話す時間を設けるなど人材育成に努めた。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼利用者支援の質の向上、情報共有、事故防止のため朝の打ち合わせや情報シート等で情報共有した。

▼個別支援計画に基づいた支援を実施出来ているのか必要に応じて会議を開いて確認し、情報を共有した。

▼活動時にはそれぞれの手順書やマニュアルに沿った支援が行われているか確認し、より良い支援を目指して行った。

▼ヒヤリハットがあった場合には原因・今後の対策を明確にして周知し、事故がないよう職員間で情報を共有しながら支援を行った。また日常的に危険個所がないか担当を決めて園内・園外の見回りや点検を行った。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

公平なサービスの提供を実施するために個別支援計画に基づいた支援を実施した。管理業務計画に沿って実施することが出来た。

・消灯など節電を意識して取り組んだ。
・札幌市環境マネジメントシステムに基づき適切な管理を行うことが出来た。

年間の研修計画を作成し、法人内研修だけではなくオンラインでの外部研修にも積極的に参加し、専門職としてのスキルアップに努めた。

利用児の把握については日々の打ち合わせの中で情報を共有したり、各職種が参加するケース会議等で話し合いを行い、共通の認識の基で一貫した支援を行うことができた。

- ▼建物の警備、エレベーターの保守点検、消防設備点検、業務を札幌市が第三者に対して委託して行った。
- ▼絨毯清掃は年1回業者に委託して行った。
- ▼園庭管理として芝生草刈りを委託して行った。
- ▼毎日警備日誌に沿って園内点検を行っている。

施設整備管理について作業日や時間の調整など細心の注意を払って対応している。今後も継続した取り組みを実施していく。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 8月5日	目的、4ヶ月の利用状況と取り組み状況、活動報告
第2回 11月17日	目的、3ヶ月の利用状況と取り組み状況、活動報告
第3回 2月16日	目的、4ヶ月の利用状況と取り組み状況、活動報告、2021年度の計画
<p><協議会メンバー></p> <p>新型コロナウイルス感染予防対策のため年3回で実施した。</p> <p>札幌市障がい福祉課 調整担当係長、運営指導係長 子ども発達支援総合センター 課長 北光まちづくりセンター 所長 北光連合町内会 会長、副会長</p>	

新型コロナウイルス感染予防対策のため2回目以降は書面会議の形をとった。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

- ▼ 現金等の取扱いについては、現金取扱要綱を整備しており、出納員及び分任出納員による一元管理を行っている。また、複数職員でのチェックを行うことで、事故防止に努めた。現金等の取扱いについては、業務検査で指摘されたこともあり、物品購入は小口現金で対応することに変更した。

小口現金を活用することで、出納管理しやすくなった。

▽ 要望・苦情対応

- ▼利用者からの要望・苦情については法人内で第三者委員を設けて対応をしている。また園内には苦情受付箱や苦情受付担当を配置し、保護者から要望・苦情を受けた場合には苦情対応マニュアルに沿って対応し、改善を行っている。職員には職員手帳に記載して周知している。
- ▼利用者や家族からの要望に関しては、個別支援計画をもとにした個別懇談会を実施し、支援の内容等も家族とともに確認しながら行っている。

令和2年度は1件の苦情があったのでマニュアルに沿って対応した。その他の要望や不安については出来るだけ解決できるものはすぐに解決をするなどの対応をとった。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

	<p>▼日々の記録等必要な書類はパソコンで作成し、児童発達支援管理責任者が適時確認を行った。</p> <p>▼個別支援計画の作成については利用者のニーズや発達段階を把握し、保護者との面談の中で必要な支援を行えるように各職種で会議を行った。また、発達に合わせて随時会議を行い、計画に沿った支援を行った。</p> <p>▼札幌市への月次報告を行っている。また実地指導を年1回受けた。</p> <p>▼書類の保管はすべて鍵付きの書庫に保存をしている。</p> <p>▼札幌市による業務検査・財務検査にて大きな指摘事項はなかった。</p> <p>▼2月にアンケート用紙を配布してセルフモニタリングを実施し、利用者の満足度の計測を行った。</p>	<p>利用児や家族の情報を利用者や家族の情報と共有することで職種毎に共通の認識をもって支援を行うことが出来た。</p>					
(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>▼法人が作成している就業規則に則り、時間外・休日労働に関する協定書、給与からの法定外控除に関する協定書、就業規則、給与規程など必要な労働関係法令を整備した。</p> <p>▼本人の有休の希望に沿って有休を取得できるように体制作りを行った。</p> <p>▼全職員が1年に1回の健康診断を必須とし、保育に携わる職員は6ヶ月に1回の腰痛検査を行った。また、ストレスチェックシートを用い、職場環境の維持向上に努めた。</p>	<p>雇用環境を整備し、職員がやりがいや目標をもって働ける環境作りを実施してきたので今後も継続して行いたい。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>・仕様書に基づき、適正に施設の維持管理がなされている。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				
(3)施設・設備等の維持管理業務	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>▼感染症予防や対策のため手順書を作成し、利用者や職員の健康管理や安全に気を付けた。また、感染症対策のオンライン研修に随時参加し、マニュアル等の見直しなどに務めた。</p> <p>▼緊急時対応マニュアル(火災、震災等)を作成し、啓発を行っている。また、緊急時連絡体制の連絡網も作成した。</p> <p>▼救急救命法の講習も実施し、AEDの使用方法について外部講師を招いて研修を行った。</p> <p>▼防犯対策として玄関の鍵は常に施錠し、モニターで確認をしてから開錠している。また、不審者対応マニュアルを作成し、研修を行った。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>▼日常清掃では毎朝打ち合わせの前と退勤前に担当箇所を決めて清掃と消毒を行った。</p> <p>計画清掃では届出書を作成し、計画的に実施した。</p> <p>▼建物の警備は帝国セキュリティが行っている。また、同一建物内にあるあかしあ学園と連絡を取り合いながら建物の施錠や開錠を行った。</p> <p>▼新型コロナウイルス感染予防対策のため指導室の手洗い場を新たに設置した。</p> <p>▽ 防災</p> <p>▼ 防災計画を策定するとともに、月1回防災訓練を実施した。また、年2回同一建物内にあるあかしあ学園と合同避難訓練を実施した。</p> <p>▼ 防火管理責任者を選出して防災管理の徹底を図った。</p>	<p>地震の教訓から災害時の非常食などの確認を行った。今後も緊急事態を想定した連絡網での訓練の実施を行いたい。</p> <p>日常清掃や計画清掃を行い、施設の維持管理に努めた。</p> <p>同一建物内にあるあかしあ学園と情報を共有して防災に対する取り組みを行った。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>・仕様書に基づき、適正に施設の維持管理がなされている。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

<p>(4)事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 学習機会の提供業務</p> <p>▼リハビリ担当スタッフ、看護師、栄養士等専門職がテーマを決めて保護者向けの学習会を11回実施した。また、週1回、ペアレントトレーニングでの学習の機会を設けた。</p> <p>▽ 市民の自主活動及び交流の支援業務</p> <p>▼今年度は新型コロナウイルス感染予防対策のためボランティアの募集は行わなかった。</p> <p>▽ 利用に関する相談業務</p> <p>▼1年間で電話や来所での相談や見学等を含めると延べ93件の相談対応を行った。</p>	<p>保護者向けのそれぞれの専門職が計画的に学習会の予定を組んで実施することが出来た。また、保護者の要望に合わせてその他に学習会の機会も設けた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・保護者向け学習会やペアレントトレーニングによる学習を行っている点は評価できる。</p>	A	B	C	D																					
A	B	C	D																									
<p>(5)施設利用に関する業務</p>	<p>▽ 利用件数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>R2年度計画</th> <th>R2年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4"></td> <td>延べ人数</td> <td>1840</td> <td>3375</td> </tr> <tr> <td>開所日数</td> <td>230</td> <td>234</td> </tr> <tr> <td>新入園児</td> <td>15</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>退園児</td> <td>—</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>▽ 利用促進の取組</p> <p>▼随時保護者からの見学や他事業所、相談事業所など様々な機会を通して見学を受け入れ施設の紹介を行った。</p>			R2年度計画	R2年度実績		延べ人数	1840	3375	開所日数	230	234	新入園児	15	24	退園児	—	14	<p>令和2年度4月は27名の在園児であった。感染予防対策を行いながら見学や体験などの希望を随時受け入れた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・一部要求水準を満たしていない項目については、新型コロナウイルス感染症感染拡大と相当程度の関連性が認められる。</p>	A	B	C	D				
		R2年度計画	R2年度実績																									
	延べ人数	1840	3375																									
	開所日数	230	234																									
	新入園児	15	24																									
	退園児	—	14																									
A	B	C	D																									
<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ 広報業務</p> <p>▼リーフレットによる施設の広報を行っている。</p> <p>▼インターネット上で札幌市のホームページに掲載している。</p> <p>▼関係機関や学校等に毎月園だよりを送付し、園での活動内容について広くお知らせをした。</p> <p>▼当事業所への見学の親子は延べ36名だった。学生実習の受け入れや関係機関の見学等も感染予防対策を行いながら受け入れをした。</p> <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>▼引継ぎ時期ではないので引継ぎなし。</p>	<p>今後も継続して行っていく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・各種広報媒体を使った積極的な広報活動は評価できる。</p>	A	B	C	D																					
A	B	C	D																									
<p>2 自主事業その他</p>																												
<p>▽ 自主事業</p> <p>▼4月から日中一時支援事業を開始し、令和3年3月現在で契約人数が21名であった。</p> <p>▼7月から居宅訪問型児童発達支援事業を開始し、令和3年3月現在で契約人数2名であった。今後も通園は難しいが、発達支援を受けたいという方のニーズに合わせて支援を行っていく。</p> <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <p>▼札幌シルバー人材センターに利用者さんの駐車場の除雪の依頼を行った。札幌社会復帰センターに職員駐車場の除雪の依頼を行った。</p>	<p>日中一時支援事業は希望される方のニーズに沿って支援を行った。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・適正に事業を実施している。</p>	A	B	C	D					<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D													
A	B	C	D																									
A	B	C	D																									

3 利用者の満足度				A	B	C	D
▽ 利用者アンケートの結果				<p>全ての利用者に配布して回収することが出来た。利用者からの要望・意見の中ですぐに対応できるものは業者を呼んで改善するなどの対策をとった。</p> <p>・要求水準を超える満足度であり、高く評価できる。</p>			
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実施期間 令和3年1月～2月 ・対象者 利用者39名 ・回収率 100% 						
結果概要	<p>・総合的な満足度は目標80%に対し87%だった。</p> <p>「子供は通園を楽しみにしているか」 はいが82% どちらともいえないが12%</p> <p>「事業所の支援に満足しているか、当施設に総合的な満足をしているか」 はいが87% どちらともいえないが12%</p> <p>「職員の接遇について満足しているか」 はいが92% どちらともいえないが7%であった。</p>						
利用者からの意見・要望とその対応	<p>【意見】手洗い、シンクをいつもきれいにしてほしい。ペーパーホルダーを子どもの手の届く位置に工夫してほしい。</p> <p>【対応】毎日朝と夕方に掃除を行う。位置を変える。</p> <p>【意見】近隣の保育園や幼稚園と交流してほしい。</p> <p>【対応】新型コロナウイルス感染拡大予防のため今年度は行わなかった。収束次第保育園と話し合い行う予定。</p> <p>【意見】教室のネジが突起している箇所の修理をほしい。</p> <p>【対応】業者を呼んで修繕を行った。</p>						

4 収支状況			
▽ 収支 (千円)			
項目	R2年度計画	R2年度決算	差(決算-計画)
収入	88,672	96,614	7,942
指定管理業務収入	85,380	93,225	7,845
指定管理費	68,280	68,283	3
利用料金	1,070	1,210	140
その他	16,030	23,732	7,702
自主事業収入	3,292	3,389	97
支出	98,867	123,655	24,788
指定管理業務支出	95,665	120,269	24,604
自主事業支出	3,202	3,386	184
収入-支出	▲ 10,195	▲ 27,041	▲ 16,846
利益還元	0	0	0
法人税等	0	0	0
純利益	▲ 10,195	▲ 27,041	▲ 16,846

今年度初めての指定管理者制度であったが園長を中心として利用者増に努めた。収入が安定するためにも今後も利用者を増やしていくように考えていく。

A B C D

・指定管理施設としては初年度ということもあり、人員体制が確立されていなかったこと等により、予算と決算に差が生じている。
・なお、利用者の増に努めていることは評価できる。

▽ 説明

▼利用料は利用者増の為に140千円増加した。

▼その他収入と障害児施設給付費や小児科・整形外科受診やコロナ補助金・保護者給食費に係る収入で利用者増加のため7,702千円増加した。

▼自主事業収入は日中一時と居宅型児童発達支援で予算より97千円増加

▼指定管理業務支出は人件費と水道光熱費が計画より増加したことにより24,604千円増加した。

▼自主事業支出は人件費が若干増えたことにより予算より184千円増加した。

▼収支は差し引き▲27,041千円の差額が生じた。

<確認項目> ※評価項目ではありません。	
▽ 安定経営能力の維持 ▼当法人は一体的に福祉サービスを提供しており、財政状況は安定している。	適 不適 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により収支は赤字となったが、法人全体としては安定した経営を保持している。
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼ 各条例の規定に則り、全て適切に対応した。	適 不適 ・各条例を順守し、適正に対応している。

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>令和2年度より札幌市みかほ整肢園は指定管理者制度を導入し、社会福祉法人麦の子会によるサービス提供、施設管理・運営を開始した。指定管理施設としての質の高いサービス提供体制を確保しつつ、さらに利用者のニーズに沿った柔軟な視点や工夫によるサービスの向上を目指していくことを優先して運営を行ってきた。</p> <p>○ 利用者の虐待防止・権利擁護の遵守 国連の「子供の権利条約」「障害者権利条約」に基づき、利用する方々の人権を守るため、支援者として確固たる倫理観と専門性を持ち合わせることができるよう、アンガーマネジメント研修、行動障害や肢体不自由のある方への対応方法の研修、落ち着きプランの設定、毎週水曜日の助けを求めると助けを求められる前に助けに入る練習などを実施した。 また、医療面・行動面での安全の確保のために腰ベルトや保護帽等を装着する場合には、事前に個別支援計画書で保護者に同意を得た上で実施し、業務日誌への記載も行った。</p> <p>○ 保護者との面談や理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の身体機能・構造、活動や参加場面における評価を共有し、各利用者と保護者の希望に沿った支援計画を作成した。計画に合わせて、日々の保育活動やリハビリ場面での経過について定期的にカンファレンスを行った。</p> <p>○ 障害児を抱えて交通機関を利用することは困難なためドアツウドアをすることで毎日の利用人数が増えた。また、単独利用を取り入れたことで兄弟の世話もできるようになり、働く母親も利用できるようになり、さらに利用人数が増えてきている。</p> <p>○ 保護者の交流の場を持った。クラス合同で親子が楽しめる集団遊び、ペアレントトレーニングの講座を行い子どもをほめて育てることを保護者と共有した。また年長組の母親と年中、年少組の母親の交流の場を設けた。</p> <p>○ 自主事業では、病院退院後通所できない子どもに家庭に出向き療育を行う居宅型児童発達支援事業を行った。またレスパイト事業として日中一時支援事業を実施した。その中で体調が悪かった母親が回復したり、兄弟の子ども世話ができるようになった等生活が楽になり子育てに余裕が出てきたなどの声が聞かれた。</p> <p>○ 子どもや障害のある人の命を大切に、尊厳が守られ、希望につながる支援を行えるように、職員の専門性・資質の向上、働くことを通してやりがいのある人生が送れるように各種研修を実施した。研修会については、年間計画をたて、年代別専門研修、職階別研修、共通研修を個人に合わせて積極的に参加しスキル向上を図った。</p>	<p>○ 利用者の虐待防止・権利擁護の遵守 法人として倫理綱領を策定して職員手帳に記載して毎朝のミーティングで輪読することで倫理綱領に元ずいて職員が行動できるように進めていく。また、職員一人一人の落ち着きプランを張り出し週1回アンガーマネジメントの練習することで職員同士助け合い、利用者への虐待防止につなげていく。</p> <p>○ 家族支援として、クラス活動で親子でクラスへの所属感を持てるように支援していく。また、保護者同士の交流の場を設ける。そして子どもの発達に合わせた子育てができるように学びや交流の機会を増やしていく。 具体的にはクラス懇談、医療的ケアが必要な子どもや障害のある子どもの子育て体験談、ペアレントトレーニング、子育て講座、親子発達支援のプログラム、子どもの精神発達についてなど日常的に進めていく。</p> <p>○ 自主事業として放課後等ディサービスを開設して就学児童の居場所作りとして卒園児などが放課後利用できるようにする。</p> <p>○ 法人全体として、発達障害、自閉症、心理臨床、ペアレントトレーニング、職業人として高いレベルの働き方についてそれぞれ専門家よりコンサルテーションを受けて研修することで職員の資質の向上を図る。また新人、2年目、3年目、4年目、5年目以上のプログラムを作り人材育成を行っていく。それから、分野ごとにオンデマンド研修を行う。 みかほでは医療型児童発達支援センターとして専門分野のコンサルテーションを受けて専門性を磨いていく。</p> <p>○ 医療型児童発達支援センターとして発育に困難をかかえる疾病や障害のある子どもや保護者と子育ての喜びや楽しみを共有し、家族の心情に寄り添った相談や支援をチームですすめていく。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
利用者のニーズに合わせた送迎職員の増員や自主事業など、適正な事業を実施していることや、利用者アンケートの要求水準を上回っていることは評価できる。	引き続き、利用者処遇の向上に努めていただきたい。